図書館の窓から

長岡市立中央図書館館報　№183

2024
春号

『花桃実桃』

中島 京子／著　中央公論新社

父親が遺したアパート「花桃館」に入居しているのは、ひと癖ある住人ばかり。その花桃館を相続することになった花村茜は、大家としてそこで暮らすことになります。住人達と奇妙な毎日を過ごす中で、悩みながらも次第にやりがいを感じていく茜の姿に、清々しさを感じる1冊です。

『春、戻る』

瀬尾 まいこ／著　集英社

結婚を間近に控えた望月さくらの前に、一回りも年下の「おにいさん」を自称する青年が現れます。「おにいさん」の登場から、徐々に封印していた記憶の扉が開かれ、過去と向き合ったさくらが未来へと歩み出す様子が描かれています。

春

新年度が始まり、待ち遠しかった「春」がやってきました。
暖かい日差しのなか、書籍で「春」を満喫しませんか。

『日本の色図鑑』

吉田 雪乃／監修　松尾 ミユキ／絵

インプレス

雪解けが進むと、どことなく草木や花が色づき始めます。紅梅色、鶯色、山吹色、虹色といった日本の伝統色は自然の中から見出したものが多いとされています。様々な色の名前から、昔の日本人が非常に繊細にその違いを表現していたことが分かります。

『お山の KITCHEN 家庭料理レシピ』

～越後長岡の山盛り歳時記～

（公財）山の暮らし再生機構／編集・制作

新潟日報社／編集・制作　新潟日報社

春が旬の山菜は、天ぷらや煮物、漬物などにして食べると絶品です。この本は長岡の中山間地域（小国・栃尾・山古志・川口・太田地区）の食材を使った誰でも簡単に作れる家庭料理のレシピ集です。食卓でぜひ旬の郷土の味を楽しんでみてはいかがでしょうか。

＊このページで紹介した本は、中央図書館一般コーナー入口付近に展示しています。ぜひご利用ください！

図書館内の所蔵資料検索機「OPAC」の使い方

ぜひご活用ください！

①標準/詳細蔵書検索

本や雑誌などの資料を探し予約をすることができます。

②ジャンル検索

CD･DVD、大きな絵本、大活字本、紙芝居、季節の絵本などをジャンル別に探すことができます。

③新着資料

図書館に新しく入った資料の一覧を見ることができます。

④おすすめ本

長岡市立図書館のテーマ展示資料の一覧を見ることができます。

⑤貸出回数/予約件数ランキング

最も読まれている資料や予約が多い資料を見ることができます。

本の検索をしてみましょう！

今回は図書を検索してみます。

自館：中央図書館所蔵の資料
全館：長岡市立図書館のいずれかで所蔵の資料
全て：長岡市立図書館で所蔵していない資料も検索できます。

タイトルや著者名を入力して検索します。
ひらがなでも検索できます。

出版年が新しい順、タイトルや著者の五十音順、同一シリーズごとに並べ替えることができます。

検索に該当した資料の一覧が表示されるので、探している資料をクリックすると、詳細情報を見ることができます。

印刷：資料詳細のレシートが印刷されます。

予約：すぐに貸出できる資料が無い場合はこのボタンが表示され、予約画面へ進みます。※パスワードが必要です。

館内図：本の場所を館内マップで表示できます。本の位置は★で表示されます。

〈拡大図〉

探し方がわからない、探しても見つからない時は、お気軽にカウンターに声をおかけください。資料を探すお手伝いをいたします。

歴史文書館だより　　各種講座のご案内

春に開催する「古文書のいろは」は、初心者向けの古文書解読講座です。初めての方でも親しみやすいように、絵図や身近な地名などが出てくる古文書を使用し、ゆっくりと読み進めます。秋に開催する「古文書に見る長岡のすがた」は、経験者向けの講座です。長岡市域に伝わる古文書を使用し、江戸時代の村々の様子や人々の暮らしぶりまでもあわせて読み解きます。「いろは」と「すがた」、どちらも担当講師が選りすぐった古文書をテキストに使用します。楽しみながら、学んでいただけることでしょう。

「市史双書を読む会」は、当館が毎年発行している『長岡市史双書』をテキストに、様々な時代・分野の長岡の歴史を学ぶ講座です。最新刊のタイトルは「新型コロナウイルス感染症と史料保存　長岡市歴史文書館の試み」。コロナ禍は私たち市民の日常生活にどのような影響を及ぼしたか、市はどのような対応をしたかなどを、当館が2年にわたって収集した資料からたどります。今年度の「読む会」は、新たな長岡の歴史を学ぶ講座となるでしょう。

「れきぶん講演会」は、令和5年7月の長倉西町への移転・リニューアル開館を機に始まった新しい講座です。昨年度は3回開催し、多くの方から足を運んでいただきました。本年は、中越大震災から20年となる年でもあり、それにふさわしい内容の講座も企画しています。開館1周年に合わせて開催する予定ですので、ご期待ください。

いずれの講座も当館講座室で開催します。市政だよりやチラシで募集をしますのでお見逃しなく！当館のホームページでは、過去の講座や活動の様子などを紹介しています。ぜひチェックしてみてくださいね。

（桜井奈穂子）

◀『長岡市史双書』
最新刊　第62号

歴史文書館HP

中央図書館所蔵資料紹介　No.179　『枕草子春曙抄』

～春はあけぼの　やうやう白くなりゆく　山ぎは
少しあかりて　紫だちたる雲の細くたなびきたる～

かつて教科書で暗唱させられましたが、改めて音読してみると心地よい調べに気づかされます。

平安時代中期、一条天皇の中宮（皇后）定子が住む後宮に仕えていた清少納言。「枕草子」は彼女のユニークな感性にあふれたエッセイです。うつりゆく季節の風景や、定子との機知に富む会話、また自分が心を動かされた様々な出来事などを取り上げています。

定子は、関白である藤原道隆の娘で、先進的な家風に育ちました。一方、清少納言は父と曾祖父がともに著名な歌人の家柄です。そんな2人の共通点として「漢詩文の教養」が挙げられます。定子と出会い、信頼関係を築いたことから料紙を与えられ、長保3年（1001）頃に「枕草子」は誕生しました。原本は確認されていませんが、伝本は多種あり、それぞれ内容や章段数、また編集方法も異なります。

『枕草子春曙抄』全13巻

江戸時代の延宝2年（1674）に、俳諧の宗匠であり歌人でもある北村季吟が注釈文を付し、『枕草子春曙抄』として著しました。当館所蔵本は、享保14年（1729）に京都の上坂勘兵衛が出版したものです。その後、寛政6年（1794）に再版され、広く普及していきました。

本文は美しい文字ですが、どの巻も注釈文が上段部にびっしりと施され、学びがいのある書物になっています。

（小熊よしみ）

☆4月2日（火）から中央図書館エントランスギャラリーで展示します。

中央図書館からのお知らせ　4月～6月

団体貸出を利用しませんか！

市内の福祉施設やサークル、民間の事業所など１０人以上のグループで利用できます。中央図書館(館外奉仕室)のほか、希望される各地域図書館(西・南・北・中之島・寺泊・栃尾)に事前に電話連絡のうえ申込書を提出してください。

・貸出冊数及び貸出期間
　中央図書館：２００冊まで　６か月
　地域図書館：１００冊まで　１か月

絵本、紙芝居、小説、実用書、大活字本など豊富に取り揃えており、書棚からそれぞれのお好みでお選びいただけます。

映画会

（中央図書館２階講堂
定員　１８０人(先着)
入場無料・申込み不要
開場は午後１時３０分から）

５月１４日(火)　「命みじかし、恋せよ乙女」
午後２時～４時０５分　２０１９年／ドイツ
（人間ドラマ・１１７分）

６月１９日(水)　「カレーライスを一から作る」
午後２時～３時４５分　２０１６年／日本
（ドキュメンタリー・９６分）

中央図書館　おやこタイム

・毎週金曜日　午前９時３０分～正午
・毎週土曜日　午後１時３０分～５時

小さなお子さんが大きな声をだしても、温かく見守りながら利用する時間です。赤ちゃんや小さなお子さんとご一緒に、気兼ねなくお越しください。

動画配信中！「中央図書館ミステリー～大切なものは？～」

夜の図書館に迷い込む大学生。
謎の指令に、図書館司書の助けを借りて挑む。
真っ暗な図書館　本棚の向こうに何かが…。
指令の謎は解けるのか？

中央図書館のホームページからご覧いただけます。

こちらからも

貸出延長について

○今、借りている資料をもう一度借りたい時、その日から２週間貸出延長ができます。

貸出 →(２週間)→ 窓口 / 電話 / スマートフォン / パソコン で 貸出延長 →(２週間)→

○貸出延長をした資料をさらにもう一度借りたい時、窓口で再貸出できます。

貸出 →(２週間)→ 貸出延長 →(２週間)→ 窓口【貸出カードと該当資料を持参】 で 再貸出 →(２週間)→

上記と同じ

※予約がある時など貸出延長や再貸出ができない場合もあります。

令和６年４月１日　長岡市立中央図書館　編集・発行
〒940-0041 長岡市学校町 1-2-2　TEL 0258-32-0658
mail：nagaoka@lib.city.nagaoka.niigata.jp

蔵書検索ができる！ホームページはこちら

図書館からのお知らせに関するフェイスブックはこちら